月刊 税理士事務所 CHANNEL

●監修●
ミロク会計人会連合会

2010.9
No.349

撮影：吉井宏文（関東信越ミロク会計人会）

9 まるごと関東信越会●

●連合会 INFORMATION●「ミロク会計人会第35回定期総会」開催報告…2
●「第35回全国統一研修会・みちのく大会」へのお誘い……4
●MJSサービスを活用した事務所経営●SOX BOX……6
●我が事務所の顧問先紹介●（株）桜井甘精堂……8
●ご当地自慢●新潟県佐渡市……10
●事務所訪問●小野税理士法人……12
●ミロクシステムQ&A●『ACELINK・ACELINK Navi 財産評価証明書（よくあるお問い合わせ）』……15
●会計人のリレーエッセイ●関東信越ミロク会計人会　澤田まゆみ ……19

★次号は“まるごと北海道会”です★

MJS

連合会及び単位会定期総会報告

6月から7月にかけて11単位会と連合会の定期総会が開催されました。その概要を報告いたします。

◆ミロク会計人会連合会

日　時／平成22年7月23日（金）15：00～18：00
場　所／株式会社ミロク情報サービス「会議室」
　　新宿センタービル48階

【議案審議】

第1号議案 第34期事業報告承認の件
第2号議案 第34期収支決算承認の件
第3号議案 第35期事業計画案承認の件
第4号議案 第35期収支予算案承認の件
第5号議案 役員改選案承認の件
その他議案 表彰の件

【報告事項】

（1）第35回全国統一研修会・みちのく大会開催進捗報告
（2）各単位会の状況報告
（3）各委員会の報告
（4）ＭＪＳの現状報告
（5）その他

連合会定期総会風景

※第5号議案において（会則第7条）、関東信越会鈴木孝会長に代わり、井上泰一会長が連合会副会長として選任されました。

井上泰一関信会新会長

連合会定期総会にて挨拶する平川忠雄会長

単位会 定期総会 開催報告

中国ミロク会計人会

日時：平成22年７月16日（金）
場所：「ホテルグランヴィア岡山」
＜記念研修会＞
演題：「会社の不祥事から学ぶべき教訓会社役員の職責と報酬」
講師：石山 卓磨 氏（MJS税経システム研究所顧問、日本大学法科大学院教授）

東京ミロク会計人会

日時：平成22年７月１日（木）
場所：「ハイアットリージェンシー東京」
＜記念講演会＞
演題：「顧問先の事業承継をどのように進めるか～後継者の指定から実行まで～」
講師：岩下 忠吾 氏（税理士）

四国ミロク会計人会

日時：平成22年７月９日（金）
場所：「サンポートホール高松」
＜記念講演会＞
演題：「いわゆるＯＢ税理士」
講師：尾崎 健一 氏（税理士法人六条税理士事務所代表社員）

北陸ミロク会計人会

日時：平成22年６月１０日（木）
場所：「ホテル金沢」
＜記念講演会＞
演題：「魂のメッセージ～出逢いに感謝～」
講師：大八木 敦史 氏（元・ラグビー日本代表　香川大学客員教授）

北海道ミロク会計人会

日時：平成22年7月24日（土）
場所：「グランドホテルニュー王子」
＜記念講演会＞
演題：「落語と私」
講師：林家 とんでん平 氏（落語家）

九州ミロク会計人会

日時：平成22年７月13日（火）
場所：「ホテルセントラーザ博多」
＜記念講演会＞
演題：「人生をおいしく食べよう」
講師：山際 千津枝 氏 （料理研究家）

中部ミロク会計人会

日時：平成22年 ６月23日（水）
場所：「キャッスルプラザ」
＜記念講演会＞
演題：「中部経済の現状と将来の展望」
講師：坂本 和優 氏（中部経済新聞社 編集局　経済部副部長）

東北ミロク会計人会

日時：平成22年7月2日（金）
場所：「江陽グランドホテル」
＜記念研修会＞
演題：「心理学を実践、孤独で悩んでいる社長を元気にする大不況時代の顧問先に喜ばれる会計事務所づくり」
講師：鈴木 丈織（じょうぎ） 氏
（US心理学博士、US医学博士株式会社ビジネスラポール代表取締役）

沖縄ミロク会計人会

日時：平成22年6月22日（火）
場所：「ザ･ナハテラス」
＜記念講演会＞
演題：「今何をすべきか？～この問いかけをしながら、懸命に頑張ってきた私～」
講師：澤岻 カズ子 氏（株式会社 お菓子のポルシェ 代表取締役社長）

近畿ミロク会計人会

日時：平成22年7月7日（水）
場所：「ホテルグランヴィア大阪」
＜記念研修会＞
演題：「グループ法人単体課税制度の創設と資本関連税制の改正」
講師：植田 卓 氏（MJS税経システム研究所客員研究員、税理士）

関東信越ミロク会計人会

日時：平成22月７月14日（水）
場所：「ホテルブリランテ武蔵野」
＜記念講演会＞
演題：「政権交代による税制の行方」
講師：植田 卓 氏（MJS税経システム研究所客員研究員、税理士）

変革のとき、未来を創造（つく）る

第35回全国統一研修会・みちのく大会

■日時／平成22年10月14日(木)
■会場／ウェスティンホテル仙台
〒980−0811
宮城県仙台市青葉区一番町1−9−1
TEL022−722−1234
■主催／ミロク会計人会連合会
■担当／東北ミロク会計人会
■協賛／株式会社ミロク情報サービス

今年も全国統一研修会まであと1カ月と迫ってまいりました。基調講演、分科会はメディア、税務、企業経営、環境といった幅広い分野のスペシャリストの皆様を講師にお迎えしております。会計事務所のご関係者にも企業参加者の方々にも納得していただけるようなラインナップとなっており、お好きなプログラムを選ぶことができるようになっています。只今、好評お申込受付中ですので、是非ともお早目にお申し込みください。

式典・基調講演

■定員／800名
■時間／午後1時45分〜3時45分
■会場／「グランドボールルーム」（2F）

「今、私たちが出来ることはなにか」

講師／櫻井（さくらい）よし子 氏

●略歴　ベトナム生まれ。80〜96年NTVニュースキャスター。80年からジャーナリストとして活躍中。95年第26回大宅壮一ノンフィクション賞受賞。98年第46回菊池寛賞受賞。08年財団法人国家基本問題研究所代表理事に就任。

第1分科会

■定員／190名
■時間／午後4時30分〜午後6時
■会場／「エルミタージュ」（3F）

「そうだったのか！グループ法人税制の活用」

■企画・運営担当／税経システム研究所・税務システム研究会

本年10月1日から適用されるグループ法人税制のポイント解説と、中小法人間の資産移転への活用と可能性を探る分科会です（メインパネリスト：植田卓氏、パネリスト：中島孝一氏、成田一正氏、長澤則子氏）。

第2分科会

■定員／190名
■時間／午後4時30分〜午後6時
■会場／「月」（25F）

「未来志向の中小企業生き残り経営術」

講師／掘切川（ほっきりがわ）一男 氏
東北大学大学院工学研究科教授

●略歴　1956年青森県八戸市生まれ。01年6月より東北大学大学院工学研究科教授。専門はトライボロジー（摩擦・摩耗・潤滑に関する総合科学技術）。文部科学大臣賞（科学技術振興功績者表彰）などを受賞。

第3分科会

■定員／190名
■時間／午後4時30分〜午後6時
■会場／「雅」（25F）

「森は海の恋人」

講師／畠山（はたけやま）重篤（しげあつ）氏
気仙沼漁師、「牡蠣の森を慕う会」代表、京都大学フィールド科学教育センター 社会連携教授

●略歴　1943年中国上海生まれ。「牡蠣の森を慕う会」を結成し、「森は海の恋人」運動を展開。05年京都大学フィールド科学教育センター社会連携教授に就任。著書に『森は海の恋人』（文藝春秋）など。

懇親ゴルフ大会案内

平成22年10月15日（金）

統一研修会の翌日は宮城県利府町の「利府ゴルフ倶楽部」にて、懇親ゴルフ大会を開催いたします。このコースは03年から「ミヤギテレビ杯ダンロップ女子オープンゴルフトーナメント」が開催されていることで知られています。03年大会の際に、当時、東北高校3年生だった宮里藍選手が優勝したことを覚えておられる方も多いのではないでしょうか。現在も大活躍中の宮里選手はこの優勝を機にプロ宣言を行い、史上初の高校生プロゴルファーとなりました。そんな由緒正しいコースにて、今年も単位会対抗戦を開催いたします。お誘い合わせの上、奮ってご参加ください。

■開催概要

◆競技方法

・単位会対抗戦
単位会成績上位者（ＮＥＴ）3名の総合点で競っていただきます）。
・個人戦
※賞品多数用意しています。
・ハンディ計算方法
新ペリア（生年月日方式、ダブルパーカット・最大ＨＤ36）
・スタートティー
男性：白マーク。70歳以上の方：緑マーク可。女性：赤マーク。
・ニアピンホール
ＯＵＴコース／4番、7番。ＩＮコース／11番、15番。
・ドラコンホール
ＯＵＴコース／6番。ＩＮコース／18番。

◆カートについて
・すべて乗用カート使用です。

◆プレー代
・お一人様 1万4，000円（目安）

◆ゴルフシューズについて
・ソフトスパイク推奨

◆スケジュールについて
・受付／7時30分～
・スタート／8時2分ＯＵＴ、ＩＮ同時

◆表彰式分について（予定）
・15時30分開始～16時終了

◆バス運行（予定）
・17時仙台空港着
・17時20分ＪＲ仙台駅着

◆ゴルフバッグ送付について
・〒981－0103 宮城県宮城郡利府町森郷字内の目北3－25利府ゴルフ倶楽部
℡022－356－7311
※ミロク会と明記ください。

問い合わせ
全国統一研修会・連合会事務局
〒163－0648
東京都新宿区西新宿1－25－1 新宿センタービル48Ｆ 私書箱4051号
株式会社ミロク情報サービス ミロク会計人会事務局 担当／竹内、真船
ＴＥＬ03－5324－3978 ＦＡＸ0120－369－773

単位会対抗戦過去の成績

第3回／九州大会

順位	単位名	ネット計
優　勝	中国会	215.8
準優勝	中部会	216.4
3位	九州会	217.2
4位	四国会	218.0
5位	東北会	218.6
6位	近畿会	220.2
7位	沖縄会	221.8
8位	関東信越会	222.2
9位	東京会	227.2

※北海道会と北陸会は参加者が3名に満たなかったためエントリーできませんでした。

第2回／北海道大会

順位	単位名	ネット計
優　勝	四国会	217.2
準優勝	近畿会	218.0
3位	中部会	218.6
4位	中国会	219.2
5位	北海道会	222.2
6位	北陸会	225.6
7位	関東信越会	225.8
7位	沖縄会	225.8
9位	九州会	227.2
10位	東京会	229.2
11位	東北会	232.4

第1回／東京大会

順位	単位名	ネット計
優　勝	中部会	215.6
準優勝	四国会	218.6
3位	近畿会	219.0
4位	九州会	220.4
5位	東京会	222.8
5位	沖縄会	222.8
7位	関信会	223.2
8位	北海道会	224.6
9位	中国会	224.8
10位	東北会	226.8
11位	北陸会	231.8

SOXBOXの機能が強化され、事務所パソコンの管理・監視がしやすくなりました!!

群馬県富岡市で電子申告への取り組みを積極的に行い、そのなかでも100(ヒャクバイト)電子申告を実践し、情報漏えい対策に「SOXBOX」、バックアップ対策に「MJSセキュアストレージサービス」を活用されていらっしゃる松井先生に、MJSさいたま支社の社員が聞いてみた。

宇都木　発売当初からSOXBOXを導入いただいていますが、以前から情報漏えい対策には興味があったのですか。

松井先生(以下敬称略)　SOXBOXは営業の方に紹介されて知りました。3月だったので、営業の方も積極的にPRしてくれました。また、電子申告がはじまって外部とのデータ通信が多くなったので、対策の必要性を感じてもいました。

小又　電子申告には最初から取り組まれていましたか。

松井　最初は手続きが面倒だなと思っていました。しかし、私は税理士会県連の情報システム委員会に所属しており、電子申告を勉強して皆さんに推進するという立場でした。

宇都木　電子申告を利用して、どんなメリットを感じていますか。

松井　今は100(ヒャクバイト)電子申告で行っているのですが、郵送の手間や代金を考えるとかなりメリットがあると思います。

小又　地方税も電子申告されていますか。

松井　もちろんです。たとえば、富岡では法人県民税の取り扱いが高崎の県税事務所に集約されたため、遠方まで申告に行かなければならなくなったんです。ですが、電子申告を使えば移動しないですむので本当に便利です。群馬県のなかでも富岡は電子申告の割合が県内で一番だと聞いています。こうした地理的な問題も申告件数を上げている要因のひとつだと思います。また、富岡地域はこの4月からすべて電子申告可能となり、便利になりました。

宇都木　電子申告に対して顧問先の反応はどうでしたか。

松井　「情報が漏れるのではないか」と心配をされていた方には説明を行ってきました。しかし、これだけ普及してくると、ほとんど心配する声は聞かれなくなりました。

小又　業務のほとんどでパソコンを使っていると思いますが、セキュリティ対策はどのように行っていますか。

松井　ウイルス対策には富士ゼロックスの「Beat」を導入しています。24時間体制で監視してもえるので安心ですが、費用が結構かかります。当時、MJSにファイヤーウォール製品がなかったので導入したんです。

宇都木　すみません。今は「FortiGate」をご案内できます。

松井　価格も若干安いんですよね。今後、検討したいと思います。

小又　具体的にSOXBOXはどのように活用されていますか。

松井　私の事務所では日報を作成しています。そして、日報とSOXBOXの履歴レポートを付け合せてチェ

〈インタビュアー〉
MJSさいたま支社
宇津木　優

〈インタビュアー〉
MJSさいたま支社
小又　士茂

「SOXBOX」

ックするようにしています。本人が忘れている業務でもSOXBOXには使用履歴が残されていますから。以前は、1週間経たないとレポートが確認できませんでしたが、機能アップしたことでレポートがすぐに確認できるようになり、大変便利になりました。

小又　職員の方は「監視されている」と感じていますか。

松井　監視されていることは伝えてあります。ただし、休み時間には自由にインターネットを利用してかまわないといっています。しかし「何を見ていたかは詳細にわかるからね」と伝えてあります。本人たちは「はぁ、はい」という感じでした。

宇都木　そのほかにも、SOXBOXでは外部メディアの使用禁止などが行えますが、利用されていますか。

松井　そこまでは利用していません。オフライン以外でデータを持ち出すということはありませんが、今後、業務形態が変われば考えていこうと思います。

宇都木　セキュリティとしてSOXBOXの費用対効果はどう感じますか。

松井　私の事務所は職員が6名です。規模的には必要ないのではないかとも思いましたが、〝安心を買った〟という感じで満足しています。セキュリティはある意味、保険なんだと思います。何かあってからでは、取り返しがつきませんしね。

小又　会計事務所は顧問先の大切なデータを預かっているという責任は感じますか。

松井　外部から意図的に攻撃を受けて情報が漏れるとは考えてはいません。しかし、事務所内部のミスにより万が一、情報が漏れたら…と考えることはあります。これだけ、電子申告をはじめとしたデータが数多くあるのですから、責任は強く感じています。

宇都木　紙の書類のセキュリティ対策はどのように行っていますか。

松井　かならずシュレッダーを使うようにしています。また、10年以上前の書類は溶解する業者に委託しています。

小又　電子申告が100ギガバイトということでしたが、紙での保管はどうされていますか。

松井　紙でも残すようにしています。確認するときなどは、紙のほうが便利だと思うからです。ただし、書類はスキャニングして電子データとしても管理しています。

小又　バックアップ対策はどうされていますか。

松井　三重でバックアップをとっています。それから「毎日のテープへの保管」「外付けハードディスクへのコピー」を徹底し、災害対策として事務所以外の場所へのデータ保管としては『MJSセキュアストレージサービス』も利用しています。私自身は水害や地震より火事を怖れています。なにせ、なくなるときは一瞬ですからね。

宇都木　現在、不安に思っていることはありますか。

松井　電子申告になりますが、日税連の認証カードが読み取れないときがあります。頻繁に利用するので、磨耗してくるんでしょうね。完全に読めなくなったときの対策に頭を悩ませています。

宇都木　最後にSOXBOXをご検討されている会計事務所の方へのメッセージはありますか。

松井　SOXBOXは機能アップして本当に便利になりました。また、クライアントパソコンの管理もできますから、Windowsのどのosがインストールされていて、「いつ・どこで・いくら」で購入したかも管理できます。職員からみれば監視されていると感じるかもしれませんが、経営者としては安心です。

MJS　本日はありがとうございました。

松井則幸先生

〈取材先事務所〉
有限会社松井会計
所長／松井則幸
所在地／〒370-2316
群馬県富岡市富岡1473
TEL／0274-62-0314
導入システム／
ACELINK Navi

我が事務所の顧問先紹介

創業200年という気の遠くなるような伝統の味を守りながら新しい菓子づくりの挑戦をつづけられている桜井甘精堂の7代目桜井佐七会長と8代目桜井英樹社長に、顧問税理士の堀越先生が訪問インタビュー。

堀越先生（以下敬称略）　本日はお忙しいところありがとうございます。さっそくですが、創業200年とうたわれていますが創業時のことをお聞かせください。

桜井会長（以下会長）　小布施の栗の歴史は、今からおよそ600年前の室町時代に始まったといわれています。当時、この地方の領主だった荻野常倫が故郷、丹波国から栗を取り寄せて植えたのが始まりだそうです。小布施の土壌が栗の育成に適していたせいか、江戸時代にはすでにうっそうとした栗林が広がっていたということです。その後、小布施栗は品質がよく美味ということで、松代藩が毎年将軍家に献上する習わしとなり、その名を天下に広めたといわれています。そして、初代・桜井幾右衛門が文化5年（1808年）に、この栗を粉にして作りあげたのが「栗落雁」だったそうです。この創製によって、200年の伝統を誇る栗菓子づくりがスタートしたのです。

▲堀越先生（左）、桜井会長（中央）、桜井社長（右）

堀越　200年の間には、紆余曲折の歴史があったと思いますが。

会長　そうですね、幾右衛門が栗の粉で落雁を創製し、その弟の武右衛門が文政2年（1819年）に「栗ようかん」を創製しました。それから「栗落雁」は加賀藩や松代藩の御用菓子となり、元治2年（1865年）には京都伏見宮家から裏菊御紋章の栗落雁調製を仰せつかったりもしました。しかし、長く続いた大名公卿による「栗落雁」庇護も明治維新によって失われ、それ以降は「栗ようかん」が商品の主流になり、明治25年（1892年）には5代・桜井佐七が「栗かの子」を創製し、全国に名を広めました。

　その後、第二次大戦中は砂糖の入手が不可能となり、栗林も強制的に田畑に変えられ、ついに休業することになりました。製造を再開できるようになったのは昭和24年（1949年）のことです。とはいえ、生産性の高いりんごにおされて、栗栽培が落ち込むなど苦難の道はつづきました。それでも何とか業績を伸ばし、昭和41年（1966年）には季節商品「栗もなか」を新たに加えて、現在のベーシックな栗菓子のラインナップが完成したのです。

堀越　社長は8代目だそうですが。

桜井社長（以下社長）　「栗かの子」を創製した5代・桜井佐七のときから、代々佐七を襲名して今日に至っています。会長が7代目・佐七です。

堀越　どうして栗だけを使ったお菓子で、200年もの長い歴史を築くことができたのでしょうか。

社長　時折、「なぜお宅の栗餡は黄色くないの」「お宅の栗かの子は色が悪くてきんとんとして使えない」といったご意見をうかがうときがあります。これは「栗は黄色いもの」「きんとんは黄色いもの」という固定観念から生まれるものです。現に、きれいな黄色の商品も数多く出回っています。しかし、そもそも栗は実をつぶして熱を加え、餡にすると鶯茶色に変化するものです。さらに時間をかけて煮込むとどんどん黒みがかってきます。つまり、栗を黄色くするには、漂白したうえで着色しなければならないのです。ですが、当社では着色によって色を整えることはしておりません。製品に添加物を一切使用しないのは、食品の安全性という観点によるものであると同時に、〝本物〟にこだわりつづけるという

代々受け継がれてきた理念によるものです。ときとしてお客様にイメージする色とのギャップを与えることがありますが、本当の美味しさは〝本物の色〟に宿ることをご理解していただきたいと考えています。

堀越　品質に関しても努力されていますね。

会長　私たちの信条は〝本物は変わらない〟ということです。良い食品の4条件は「なにより安全で、おいしくいく、適正な価格で、ごまかしがない食品作り」です。その実現のため「良い原料。清潔な工場。優秀な技術。経営者の良心」を厳粛に守り、たがいにチェックと研鑽を重ねています。伝統の味と技術を大切にし、ひとつひとつに丹誠をこめた栗菓子づくりを、今日もつづけています。

▲「栗かの子」

堀越　大正8年（1919年）に業績を拡大されていますね。

会長　密閉式ブリキ缶容器の開発に成功したのがきっかけでした。これにより生菓子の「栗ようかん」「栗かの子」の販路を全国へ飛躍的に伸ばすことができたのです。昭和13年（1938年）に大阪三越で販売したという記録が残っています。

堀越　栗の収穫は1年に一度だけですよね、年間の製造はどのようにされているのですか。

社長　1年に1回しか仕込みができないので、半製品の原料として蓄えておき、年間を通じて製造できるように備えています。9月の初旬から鮮度を落とさないように約40日の短期間で仕込みをするのですが、ちょうどその時期が観光シーズンと重なり、たいへんな忙しさとなります。

堀越　効率を上げるには機械化が必要だと思いますが、そのあたりはどうされているのですか。

社長　仕込みからさまざまな苦心がありますが、そのひとつが「栗かの子」を缶に詰める作業です。これはすべて手作業でやらなくてはならないのです。機械でやるとなると、餡を柔らかくしなくてはいけないのですが、それでは甘精堂の味ではなくなってしまう。歴史の味を守るという執念を持ちつづけるかぎり機械化の道は険しいですね。

▲甘精堂の本社社屋

堀越　これからの中長期計画についてはどのようにお考えですか。

社長　和菓子はどうしても贈答用が中心になります。しかし、近年はお中元やお歳暮が縮小傾向にあります。そこで、日常食べていただく洋菓子の開発に注力しています。とくに自信を持っているのがモンブランです。1日に1500個も販売しています。時代時代において嗜好は微妙に変化しますから、それに対応してこれからも3000年、400年と末永く皆様に愛される商品を提供していきたいと考えています。

堀越税理士事務所との付き合いは、会長が知り合いの社長から倫世（みちよ）先生のお父様を紹介されてからで、約40年以上になるそうです。親子2代にわたって、たがいに成長してきた事例です。倫世先生は「これからも2代目同士として、忌憚のない付き合いをお願いしたい」と考えています。まさに継続は力なりといったところでしょうか。

■訪問事務所概要
事務所名：堀越税理士事務所
所長：堀越 倫世
住所：〒381-0043
　長野県長野市吉田二丁目7-21
電話：026-252-5080

■会社概要
称号：株式会社 桜井甘精堂
創業：1808年(文化5年)
　法人設立 昭和29年5月29日
代表者：代表取締役　桜井　英樹
住所：〒381-0298
　長野県上高井郡小布施町大字小布施2460-1
電話：026-247-2132
事業内容：①栗菓子製造、小売、販売
　②飲食店、喫茶店経営
直営店舗：本店、泉石亭、北斎亭、栗の木テラス小布施店・長野店、軽井沢店
ホームページ：
http://www.kanseido.co.jp

ご当地自慢 新潟県佐渡市

案内人／平野利司税理士事務所
平野利司（りじ）先生

今回は地元・新潟県で世界遺産登録に向けて活動を展開している佐渡市をご案内したいと思います。日本海に浮かび、雄大な自然に囲まれた佐渡島には、産業遺産「佐渡金山」だけでなくさまざまな見所があります。さっそく、島をグルリと周って、ご案内いたしましょう。

時速80キロメートルで海上を走る佐渡汽船の「ジェットフォイル」

今回は現在、ユネスコの世界文化遺産への推薦に向けた国内暫定リストに「金を中心とする佐渡鉱山の遺産群」として選定されている佐渡島の名所をご案内したいと思います。新潟市から佐渡島には時速80キロメートルの佐渡汽船（株）が運行しているジェットフォイルに乗って約1時間ほどで到着します。ジェットフォイルは海水を勢いよく噴射して、海面から浮き上がった状態ですすむのが特徴です。一度乗ってみると、そのスピード感と揺れがなく安定した走行に驚かれる方も多いかと思います。なお、このジェットフォイルはだいたい1時間に1本のペースで出航していますが、市内に戻る最終便は17時35分と早いので、できるだけ朝のうちに出発することをおすすめします。

▲「ジェットフォイル」乗り場の前に立つ平野先生

日本の金銀山の最高峰「佐渡金山」

佐渡島に着いたら、まずは日本最大の金銀山「佐渡金山」に向かってみましょう。佐渡金山は1601年（慶長6年）に江戸幕府によって開山された金山で、平成6年まで採掘がつづけられていたことで知られています。この間に採掘された鉱石は1500万トンにおよび、金は78トン、銀は2300トンにも上ったそうです。坑道の総延長は約400キロメートルで、その一部は観光客向けに開放されています。

▲「佐渡金山」の坑道前に立つ平野利司先生（左）と富樫寛（とがしひろし）先生（右）

開放されているのは宗太夫坑コースと道遊坑コースのふたつです。宗太夫坑コースは江戸時代に採掘されていた坑道で、所々に当時の作業風景を再現した電動人形が設置されており、アナウンスを聞きながら、金山での仕事や労働環境を知ることができるようになっています。一方、道遊坑コースは明治時代に採掘された坑道で、近代的な坑道の跡を見ることができるようになっています。道遊坑コースには人形などが設置されているわけではないので、初めて金山を訪れる人には宗太夫坑コースのほうをおすすめしたいと思います。

▲「宗太夫坑コース」のなかにある電動人形

宗太夫坑コースでは現場を取り仕切る山師や採掘作業を行う職人、地下水を汲み上げる水替人足の仕事振りを見ることができます。なかでも重労働だったと思われるのが水替人足の仕事です。この仕事を行っていたのは戸籍を持たない無宿人と呼ばれる人たちでした。彼らは湧き出してくる地下水を水上輪という装置を使って、つねに地上に送りつづけなければならなかったのです。ちなみに、坑道を抜けると、佐渡金山の資料館があり、より詳しく佐渡金山の仕事を学ぶことができます。ガラスケースのなかから、12・5キログラムの金塊を引っ張り出せるチャレンジコーナーもあったりして、なかなか楽しめますよ。

ご当地自慢 新潟県佐渡市

佐渡の大自然が生んだ自然の美「尖閣湾」

金山を見た後は尖閣湾のクルージングで佐渡島の大自然を満喫してみましょう。ここでの最大の見所は何といっても岸壁と奇岩の数々です。そもそも尖閣湾は佐渡の最高峰「金北山」が噴火し、その際に流れ込んだ溶岩流によって形成されたといわれています。昭和7年には文部省天然記念物調査委員の脇水鉄五郎理学博士が天下の絶景と賞し、世界一と賞されるノルウエイのハルダンゲル峡湾に対をなす海岸美として『尖閣湾』と名付けられたそうです。その後、昭和25年には国定公園に選定され、昭和28年には菊田一夫原作の映画『君の名は』のロケ地に使用されたことから、全国的に知られるようになりました。

▲「尖閣湾」の岸壁と奇岩

クルージングでは遊覧船に乗って、尖閣湾の約2キロメートルの海岸を真近にみることができます。尖閣湾には第1景から第5景までの峡湾美があり、動物などにたとえられたユニークな岩の数々が紹介されます。また、この遊覧船のほかにも、船から海中を眺めることができる「海中透視船（グラスボード）」も運航しています。こちらは船底に強化ガラスが貼り付けられており、そこから海底の様子や魚の遊泳を観察することができるようになっているのです。ちなみに、海中透視船は「シャーク」と命名されており、その名の通りサメの形をしています。

▲海中透視船「シャーク」

佐渡島を代表するパワースポット「岩屋洞窟」

最後にちょっとマニアックなパワースポットにも足を運んでみましょう。宿根木地区の山の中腹に位置する「岩屋洞窟」です。新潟県指定の文化財であり、佐渡百選にも選ばれています。この洞窟は標高90メートルに位置していますが、実は波浪による侵食で海食崖に形成された「海蝕洞」だそうです。かつてはこのあたりが海だったのかと思うと、不思議な気持ちになります。

▲「岩屋山洞窟」のなかにある磨崖仏

洞窟内には新潟県で唯一の磨崖仏があります。磨崖仏とは石壁をそのまま彫ってつくられた石仏のことで、大分県臼杵市の国宝「臼杵の石仏」などが有名です。一説によると弘法大師作ともいわれていますが、その真偽はわかりません。また、洞窟の内部には100体以上、周辺には88体もの石仏がずらりと並んでいます。そして、石仏に囲まれるようにして囲炉裏が設置されてあり、修験者たちが寝泊りできるようになっています。その神秘的な雰囲気には思わず息を飲んでしまいます。

▲「岩屋山洞窟」のなかにある大小の石仏の数々

このほかにも佐渡島には甘エビをはじめとした海の幸やツーリングやハイキングスポット、歴史や文化を感じられる街並みなど、さまざまな魅力が満載です。また、最近ではご当地グルメ「佐渡天然ブリカツ丼」なんかも話題を呼んでいるそうです。夏が終わり涼しくなってきた頃合に、是非とも佐渡島に足を運んでみてください。

事務所訪問

ISO9001とプロジェクトマネジメントの採用で全社一丸の事務所改善を実践!!

小野税理士法人の皆さん

小野税理士法人

社会インフラが大きな変化を遂げる一方で、小野税理士法人（茨城県水戸市）はワンストップサービスにより、お客様満足度向上を実現すべく、日々、挑戦しつづけています。さっそく、その事務所改善の取り組みをレポートします。

ワンストップサービスを提供する事務所の先駆け

昨年開業から50年を迎えた茨城県屈指の老舗会計事務所、小野税理士法人では、地域の会計事務所に先駆けて士業のワンストップサービスを実施してきました。現在は税理士、社会保険労務士、行政書士の一括サービス（ワンストップサービス）を展開しているそうです。

事務所の創業は昭和34年。現在、税理士4名、社会保険労務士1名、行政書士1名を有する総合士業事務所として、水戸市に拠点を置いています。今回は小野隆税理士（小野税理士法人副所長）に事務所改善のポイントをお聞きました。

改善のきっかけになったISO認証取得

「現在、日本全国の士業事務所の業界では、人材採用難・定着難、新サービスの開発・提供、業務の効率化・標準化、お客様満足度向上への取り組み、サービス品質向上への取り組み、事務所の事業承継などが課題となっています。これらの課題をひとつずつ、着実に改善することを目的として、平成12年より事務所改善活動をスタートしました」

その活動の先駆けとなったのがISO9002（現在はISO9001：2008）の認証取得です。

「多くの事務所が業務の標準化や生産性、品質の向上を課題にしてい

■所在地／〒310-0063　茨城県水戸市五軒町1-3-34　会計ビル
■ＴＥＬ／029-224-3711
■ＦＡＸ／029-226-7645
■創　業／昭和34年
■設　立／平成14年
■職員数／47名
■導入システム／ACELINK Navi

ます。そこで、私を中心として所内にISOプロジェクトを発足させ、各自がすすめている業務や情報の標準化を推進することによって、会計事務所の基幹業務である『税務』『会計』の品質向上を目標とする活動をはじめたのです」

こうして小野税理士法人では当時はまだ珍しかった3士業分野での一括ISO認証（税理士、社労士、行政書士）をはたし、大きなインパクトを残しました。また、さらなる業務品質向上を実現すべく、士業事務所の生命線ともいえる『お客様重要情報の適切管理』（情報セキュリティマネジメント）の仕組みをISO9001のなかに組み込んで、デジタル、アナログを問わず、すべての媒体の情報管理を所内の統一されたルールのなかで実践しています。

「全社一丸となって事務所改善に取り組んでいます」と小野隆先生

「このISOでの所内インフラの管理はたんに業務標準を実現しただけでなく、顧客への信頼のアピールにもつながっています。まさに私たちが掲げる『正確』『迅速』『高い専門性』『機密保持』を実現する経営ツールになっています」

5年後の改善を見据えたプロジェクトマネジメントの推進をスタート

事務所の業務インフラをISO9001で固めた小野税理士法人が次の事務所改善に取り掛かったのが平成16年のことです。その際には所長や一部幹部が改善をすすめるのではなく、全社一丸となって改善に取り組むプロジェクトマネジメント（PM）という手法を採用しました。ちなみに、PMの採用は、ISO9001認証取得の際にサポートしてもらった士業事務所の経営改善専門コンサルタントである角田達也氏（イプシロン㈱、東京都）と検討した結果、決定したそうです。

「事務所改善をすすめる上で大切なことは、決して独りよがりの改善にならないことです。だからこそ、事務所を良い方向に改善していくためには、トップだけでなく、幹部、従業員、契約社員、お客様、アライアンス先など多くの方の視点を取り入れる必要があります。特にその際には第三者の『目』が重要になってくるのではないでしょうか。外部の目を入れることで、優先順位付け、目標設定、改善方法、効果など、あらゆる改善プロセスをトップ、幹部、PMメンバー、外部コンサルが一丸となって進めていくことができるからです」

こうして現在まで編成した改善プロジェクトは5年間で延べ74件にも上るそうです。その種類も実に多彩で、月次、決算ツール、初期指導ツールの整備といった実務的なものから、納期遵守、原価管理、会議運営、売掛金早期回収といった経営管理にいたるまでプロジェクト化され、なかでもタイムマネジメントの重要性はPMの初期から認識し、ACELINKの業務日報や原価管理を有効活用しているそうです。

つぎの50年を見据えた新組織体制の船出

「この5年間はあえて新規事業に着手することを抑えて、まずは組織として生き残るために必要な土台づくりをすすめてきました。次は顧問先様のさらなる発展のために必要な今の時代に対応した新組織づくりが重要になってきます」

事務所のある町

咲き誇る萩の花が「偕楽園」の秋を彩る!!

茨城県水戸市

水戸を代表する観光地「偕楽園」を会場として、9月1日～9月20日にかけて「水戸の萩まつり」が開催される。梅の名所として知られる偕楽園だが、実は萩の花とも深い由縁がある。偕楽園の萩は水戸藩第9代藩主・徳川斉昭公によって、天保13年の偕楽園創設と同時に植えられたといわれているのだ。ちなみに、萩まつりの期間中は宮城野萩や白萩、ヤマ萩、丸葉萩などが咲き誇っているだけでなく、「スズムシの放虫2010匹」「野外琴の会」などの催しを楽しむこともできる。また、祭りの後の9月22日には中秋の名月にちなんだ催しも行われ、名園のなかで茶会や尺八演奏会、琵琶演奏会、神楽舞・雅楽演奏会といった日本の古典芸能を楽しむことができる。

そこで、小野税理士法人では業務のワークシェアリングに取り組んでいます。もともと業務標準化はＩＳＯ９００１ではかられていますが、今度はさらに個々のお客様の期待、要求に応じた仕事の割り振りを、複数名で実践していこうという取り組みです。

「従来は作業から指導に至るまでのすべての業務を1担当者がこなしてきましたが、それではベテランの負担がどんどん膨れ上がってしまいます。そこで、誰でもできる作業部分や前もって整備しておける業務などを複数名でこなして、担当者の機会原価を最小限に抑え、適切な価格・スピード・品質でお客様に応えていこうと考えたのです」

現在は16通りあるワークシェアリング手法について、さまざまな角度から実証する活動をしている真っ最中。これから徐々に顧問先に展開していく予定だそうです。

さらに、中小企業会計指針、書面添付制度の適用を、業務品質の担保をしながら拡大していくための仕掛けとして『ＯＺ基準』（小野税理士法人における税務、会計の統一見解基準）の整備を行っています。とかくベテラン社員の経験値が優先されがちな部分を所内基準化して、若手社員の教育訓練にも活用していこうというわけです。

そのほかにも顧問料の適正化をはかる指針としてのバリューアップ検討の仕組み（顧問料の適正値上げ、原価の適正削減）やコミュニケーションを活性化させるためのさまざまな目的別会議の設置など、多くの改善に取り組んでいます。

「不況下ではどうしても新規顧客の開拓、新サービスの開発など、新しいことばかりに目がいきがちですが、まずは所内の経営土台を固めて、お客様からの期待、要求に着実に応えることが地域のワンストップオフィスとしての使命だと感じます」

もちろん、こうした業務改善にあたっては、ＭＪＳのシステムを有効に活用しているといいます。

「ＡＣＥＬＩＮＫ Ｎａｖｉの業務日報や原価管理といった機能を活用することで、組織のマネジメントが随分と楽になりました。これからは顧問先のデータの解析や分析などにもＡＣＥＬＩＮＫ Ｎａｖｉを活用していきたいと考えています。ちなみに、現在は書類の電子化に際して、フォルダの階層整備をどう見直すかについて議論しています。また、平成23年度の目標にはＳＯＸＢＯＸの有効利用なども掲げています。たんに事故原因分析のシステムとして使用するのではなく、仕事の効率性をチェックするなど、もっと前向きに使用することができないかと検討したいと思っています」

今回の取材を通して、小野副所長は「事務所と顧問先との強固な信頼関係を構築するための改善活動を実践される事務所が増えること、外部コンサルタントをうまく活用した事務所改善事例が増えること」を強く希望されていました。益々のご発展をお祈り申し上げます。

組織化されたスピーディーかつ正確な仕事ぶりが顧問先から高い評価を得ています

会計人のリレーエッセイ

関東信越ミロク会計人会　**澤田 まゆみ**

私の住む宇都宮は餃子の街です

宇都宮の餃子は全国的に知られていますが、宇都宮が「餃子の街」といわれるようになったのはそんなに昔からのことではないのです。

今から20年ほど前、街おこしの施策を考えていた宇都宮市の職員が、宇都宮には、これといった名物や観光スポットがないことを憂い、「一世帯当たりの餃子消費量が日本一」という統計に目を留めました。その総務省の統計によりますと、昭和62年から現在まで餃子消費量第1位（ただ1度だけ2位の年がありました）でした。そして、これを観光PRに使おうと「餃子マップ」を作成したのです。宇都宮には餃子だけを専門に販売するお店が多数存在しますが、全国的には珍しいかもしれませんね。

平成10年から11年にかけて、宇都宮市の取り組みが民放のテレビ番組で連続して取り上げられ、宇都宮の餃子は全国区に躍り出たわけです。その番組と市がタイアップし、PR作戦のひとつとしてオブジェを制作しました。それが写真の「餃子の像」です。ビーナスが餃子の皮に包まれた姿を表現しているということですが…かわいいでしょ。余談ですが、実はこの像、一度引越しをした際に、業者が誤って像を落としてしまい、真っ二つに割れてしまいました。よく見ると修復の痕があります。この事故は全国ニュースでも取り上げられたのですが、餃子像の知名度の高さに驚かされました。現在はJR宇都宮駅西口バスターミナルにあり、観光客の人気を集めております。

「食」による地域活性化の活動は全国的に盛んだと思いますが、宇都宮での餃子による街おこしは、当初、行政主導で行われたものを事業者が組合を発足させ、民間主体の活動にうまく移行したという点で注目されている事例なんです。また、事業者組合「宇都宮餃子会」の会員事業者の店舗等における餃子の売上げは、ここ10年間で10倍になっているという推計も出されていて、地域活性化を超えたブランドとしての経済効果をあげていることもたしかです。

そんな街おこしの成功事例「餃子の街宇都宮」に皆様もぜひ一度いらしてください。

表紙の写真

「高崎市役所からの眺め」
（所在地：群馬県高崎市）

高崎市役所より榛名山、妙義山、浅間山を望んだ風景。なかでも榛名山は大部分が市域に含まれる高崎を代表する山のひとつ。上毛三山に数えられ、古来より山岳信仰を受けてきたことでも知られる。また、写真の下部を流れている烏川は高崎を代表する一級河川で、流域のほとんどが市域に含まれる。そのほかに、市内には利根川や碓氷川などの一級河川が流れている。

月刊 税理士事務所 Channel 通巻349号

- 発　　行／株式会社ミロク情報サービス
  〒160-0004 東京都新宿区四谷 4-29-1
  TEL. 03-5326-0304（ミロク会計人会事務局）
- 発 行 人／是枝 周樹
- 編集企画／ミロク会計人会連合会広報委員会
  ミロク会計人会事務局
- 配信制作／東方通信社
- 印　　刷／御幸印刷株式会社
- 購読申込／株式会社ミロク情報サービス
- 禁無断転載

月刊税理士事務所CHANNEL 平成二二年九月一日発行（毎月一日発行）第三百四十九号 発行 株式会社ミロク情報サービス 〒一六〇-〇〇〇四 東京都新宿区四谷四-二十九-一 電話〇三（五三二六）〇三〇四

symantec.

ピンチ！ディスク障害、ウイルス感染・・・
そんな時もシステム環境まで
丸ごと高速復旧！

もしも経理使用のPCや売上データの入ったPCが壊れたら・・・もしも役員のPCが感染したら・・・

PC 故障 → メールもWebもOfficeも使えない！ → 生産性大幅ダウン

元の環境に戻す → PC修理にだして、OS/アプリケーションの再インストール、環境設定、その後テスト・・・ → 早く直して～！募るイライラ

解決！

簡単、確実にバックアップ＆超高速復旧を実現！

Symantec Backup Exec System Recovery 2010

クライアントPC上の業務データだけではなく、OSやアプリケーション、設定まで含めてシステムを丸ごとバックアップ。もしもの時に、高速な復旧が可能です。

価格

用途	構成例		
Backup Exec System Recovery Basic Edition	基本機能版 ・バックアップ／高速復旧 ・異機種マシンへの復旧／仮想変換 ／ VSS連携	メーカー型番	20059142
		金額	97,200円
Backup Exec System Recovery Server Edition	高機能版 基本機能版に以下の機能を追加 ・増分バックアップ、集中管理、その他	メーカー型番	20058966
		金額	153,800円
Backup Exec System Recovery Desktop Edition	クライアントPC向け クライアントPCの丸ごと保護と高速復旧	メーカー型番	20059516
		金額	12,200円

※ 上記金額は、エクスプレスプログラム（ライセンス製品）のものです。※ 各型番の製品には、メーカー保守「エッセンシャルサポート」が含まれます。※ Desktop Editionのみメーカー保守を「ベーシックメンテナンス」に変更可能です。（12,200円、バンドル、税別）

製品の詳細：www.BackupExec.com/jp

Copyright © 2009 Symantec Corporation. All rights reserved.
SymantecとSymantecロゴは、Symantec Corporationまたは関連会社の米国およびその他の国における登録商標です。その他の会社名、製品名は各社の登録商標または商標です。
製品の仕様/価格は、都合により予告なしに変更することがあります。
本カタログの記載内容は、2009年11月現在のものです。

株式会社シマンテック
〒107-0052 東京都港区赤坂1-11-44 赤坂インターシティ
コーポレートカスタマーサービスセンター（法人向け）
電話受付時間：月～金 10:00～12:00、13:00～17:00（祝日/年末年始を除く）
TEL：03-3476-1426 FAX：03-3476-1159